体験して納得してもらう。切り替えるなら一気に

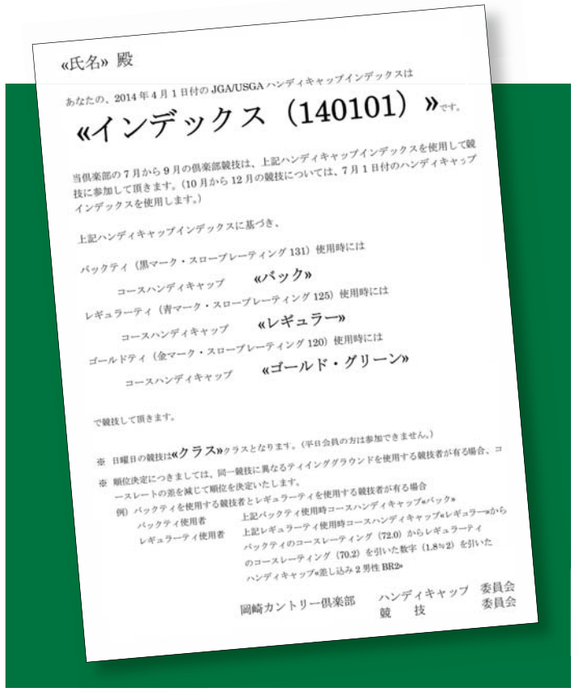
岡崎カントリー倶楽部

岡崎CCは、これまでJ-sysを倶楽部のオフィシャルハンディキャップとして使用してきましたので、今回のインデックスへの切り替えは、1月から3月までを準備期間として、4月よりシステムを運用し倶楽部競技を運営していきます。

競技運営やハンディキャップに関する変更点の会員への案内は、書面で行われました。

会員にはインデックスとは何ぞやではなく、このハンディキャップでラウンドする手続きはどのようにするか一人ひとりのハンディキャップインデックスの数字とコースハンディキャップを記入した書面が封書で郵送されました。

会員の大半の方が、詳しい理屈より倶楽部側の指示通りインデックス競技を体験してみて、内容を理解されました。



ハンディキャップインデックスの各個人への通達書。

4月から倶楽部競技はこうなる

実施月前に郵送で会員へ通達された。インデックス導入にともなう倶楽部競技運営の内容書（原文）

①月例競技

●Aクラス 16・9まで

●Bクラス 17・0から

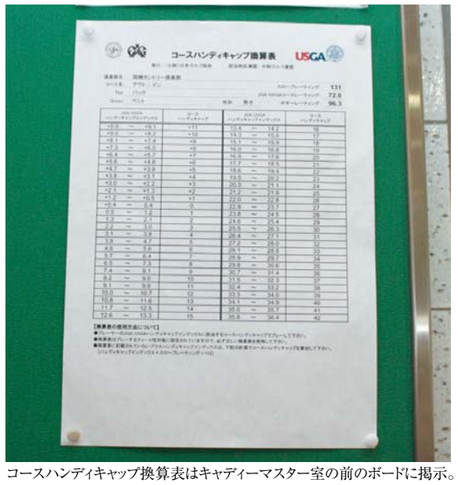
Aクラス・Bクラスのクラス分けを3ヶ月ごとに見直します。

※岡崎CCの場合は、月例人数が多いため日程が分かれており、やむを得ずインデックスの更新は3ヶ月ごととなる。したがって例えば7月～9月は4月時点のインデックスで競技およびクラス分けをする。

②倶楽部競技使用ティ

●男性 1．バックティ（黒）
2．レギュラーティ（青）
3．ゴールドティ（金）

●女性 1．バックティ（黒）
2．レギュラーティ（青）
3．グリーンティ（赤緑）



コースハンディキャップ換算表はキャディーマスター室の前のボードに掲示。

③マッチプレーにおけるハンディキャップアローワンスを現在の3／4から80パーセントとします。

④JGA／USGAハンディキャップシステムに基づき、各会員にはハンディキャップインデックスが発行されますので、使用ティに応じてマスター室前に掲示されているコースハンディキャップ換算表をご覧ください。それが当日のハンディキャップとなります。

⑤異なるティインググラウンドを使用する競技者がある場合、コースレートの差に応じてハンディキャップを減じて順位を決定します。（基準はバックティとなります）競技終了後、アテストカード提出時に必ず当日の使用ティを記入してください。

⑥ハンディキャップインデックスの改正は原則3ヶ月に一度とします。但し、急激に技量に変化のある会員についてはこの限りではありません。

⑦スクラッチ競技およびクラブチャンピオンシップについてはトーナメントスコア指定とし、通常の競技とは異なるハンディキャップ査定スコアと見なします。

⑧他倶楽部をホームコースに指定している会員は、そのコースよりハンディキャップインデックスを取得してください。他倶楽部をホームコースとする会員で、ハンディキャップデックス未取得会員が当コースの倶楽部競技に参加する場合は、オープン参加となります。（ゴルフ場独自に算出しているハンディキャップでは、当倶楽部の倶楽部競技はオープン参加となります）

⑨ハンディキャップインデックス取得に必要なスコアカードの枚数は、直近2年間にラウンドした20枚中ベスト10枚です。ハンディキャップインデックス未取得会員が当コースの倶楽部競技に参加する場合は、オープン参加となります。

以上

岡崎CC「やって良かったインデックス」

ハンディキャップ委員長 **木村 文憲**氏

岡崎CCは、経営会社と会員倶楽部があって会員倶楽部が理事会を運営しているのです。今回のインデックス導入は、最初は消極的でしたが、調べていくうちに関東も関西も導入している。会社側もグループゴルフ場ではすでに進めているということでした。

インデックスについて理論上はわかっていますが、実際の実務に関してスタッフに多大な迷惑がかかるのではないかと思っていました。ところが「そんなに難しいことではない。うちは、すでに資料として会員データを打ち込んであるので、理事会が決定してくれれば、会社としては全面的にバックアップする」ということでした。

会員からは多少の抵抗がありましたが、会社側がその都度インデックスの良さを根気よく説明してくれましたので助かりました。岡崎CCの特殊な事情もあってJGAの模範通りには実現しませんでしたが、われわれとしては満足しています。

インデックスをゴルファーに理解させるには、世界各国で使用されているハンディキャップといってもリアル感がありません。うちの会員は岡崎市、豊田市在住の方が多く、周辺のゴルフ場の会員にもなっておられますので、「インデックスがあれば、倶楽部同士で合同月例競技をすることもできる、遊び方が多様になって、ゴルフがますます面白くなります」。

そんな説明をしているうちに百聞は一見にしかずで「俺は、インデックスが15・5なった。これまできつい倶楽部ハンディでやっていたので、再び優勝も狙える気分になれてうれしいよ」という感想がうかがえるようになりました。

岡崎CCとしては、半ば強引に進めましたが、やって良かったと思っています。

ハンディキャップボードは氏名がアイウエオ順に紹介されている。

さらばハンディキャップボード

競技委員長 **稲垣 智久**氏

岡崎CCからハンディキャップボードが消えて3カ月になります。私事で恐縮だが、往年はプラス2が私の倶楽部ハンディキャップでした。当時ハンディキャップボードはゴルフの成績表であったので私の名前はトップに置かれていました。

しかしプラス2という数字は全盛の頃の数字。到底守り切れません。ある日、その時のハンディキャップ委員長へハンディキャップのダウンをお願いしたら委員長は「あなたは、岡崎CCの看板選手だ。プラス2という数字は我が倶楽部の自慢なんだ」。結局そのままでした。

そのハンディキャップボードが会員のネームボードになりアイウエオ順に紹介されるようになったのがインデックス導入前の4月1日です。

アスリートゴルファーとして名誉ハンディ?を飾られる後ろめたさを長い間、自分自身への屈辱と思い続けてきただけに本当に気持が楽になりました。

さらに今年からインデックスになりハンディキャップボードは完全に不要になりました。私は5月の時点で61歳。還暦を過ぎ名誉ハンディからも完全に解放され往年のプラス2は私の思い出の数字となりました。(談)